Mazak

REF.No2091108

Press Release

2019 年 11 月 8 日

令和元年度「卓越した技能者（現代の名工）表彰」に当社社員 2 名が選出

ヤマザキマザック株式会社（社長：山崎高嗣、本社：愛知県大口町）の社員 2 名が、各産業分野の卓越した技能者を表彰する令和元年度「卓越した技能者（現代の名工）」に選出されました。
ヤマザキマザックオプトニクス㈱生産技術課に所属する　坂口　好彦（さかぐち　よしひこ）と、ヤマザキマザックマニュファクチャリング㈱いなべ製作所　組立二課に所属する　金森　仁司（かなもり　ひとし）です。

「現代の名工」は、きわめてすぐれた技能を有し、他の技能者の模範となる卓越した技能者を厚生労働大臣が表彰する制度です。

坂口社員は、昭和 53 年に入社し、NC 旋盤の組立・調整、米国赴任などを経験し、現在はレーザ加工機を製造するヤマザキマザックオプトニクス㈱生産技術課に所属しています。
国内・海外で NC 工作機械の組立・調整・修理作業に長年従事し、機械調整時の精度出しにおいて卓越した技能を有しており、現在は設備機械の加工精度をミクロン単位で維持するための予防保全や保守作業に従事しています。
また技能伝承のため、社内での OJT とともに、ものづくりマイスターとして県内の中小企業へ出向き、技能検定仕上げ職種の実技指導を行なうことで、次世代技能者の指導・育成に貢献していることなどが評価され今回の選出となりました。

金森社員は、昭和 55 年に入社し、立形マシニングセンタの主軸ヘッドやチルトテーブルの組立に従事し、現在はヤマザキマザックマニュファクチャリング㈱いなべ製作所組立二課に所属、最終工程での機械精度や完成確認作業と後進の育成指導に従事しています。
入社以来 38 年間に亘り生産現場での業務に従事し、主軸ヘッドやチルトテーブルなどの品質向上と量産化に貢献。また、さまざまな専用組立治具を自ら考案して製作し、現場へ導入することで生産性と安全性の向上に大きく貢献したことなどが評価され今回の選出となりました。

当社の「現代の名工」は、1997 年から昨年までに計 6 名が選出され、今回で計 8 人となります。

「現代の名工」への選出は、本人ならびに会社にとって栄誉であり、今後も当社は高度な技能を有する人材の育成に努め、高性能な工作機械の提供を通して世界のモノづくりの発展に貢献していきます。

掲載されているプレスリリースは、報道関係者へ発表した情報の要約です。
予告無く内容が変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください

お問合せ先 ： ヤマザキマザック株式会社　経営企画室　広報
TEL：0587-95-6849　www.mazak.jp